

市民科学研究室 2012 年度の会員を募集しています！

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災を機に、日本のこれまでの科学技術のあり方が総体的に、そして根本から問題視されるようになりました。「何のための科学技術か」が様々な局面において、かつてないほど鋭く問われている、と言えるかもしれません。「市民の、市民による、市民のための科学技術」をテーマに掲げる私たちも、その活動の真価が今厳しく試されているのだ、との思いを深めています。

私たちは、**市民科学講座**や**市民科学談話会**をとおして、時宜にかなった幅広いテーマでの議論の機会を提供し、いくつかの専門調査チーム（「**〇〇研究会**」、現在 7 チーム）によって、特定のテーマでの調査をすすめ、それらの活動で得られた情報や成果を、『**市民研通信**』などの形ですべて**ホームページ**においてどなたでもご覧になれるように公開してきました。調査テーマに応じて何らかの助成金を利用する場合がありますが、活動の最大の支えは、会員になってくださる方々からいただく様々なご協力と会費です。

政府や企業からも独立して自らの考えと意思で「調べるべきことを調べる」という姿勢を貫くには、多数の市民の方々からのご支援が何よりの力となります。いわゆる「専門家」ではないものの、「どうにもほうっておけない"問題"があり、それを何とかしたい」という思いを持っていることで結ばれた市民たちが、持てる知力を結集して、独自の調査に臨む——このしくみと機動力を維持するには、どうしてもその問題意識の共感の和に加わってくださる、新たな市民の方々の応援が必要なのです。

2012 年も、これまで築いてきた姿勢を維持し、より質の高い調査や学習・啓発の機会の提供を目指していきたいと思えます。年の変わり目にあたり、これまで会員でいらして下さった方々には会員登録のご継続（新年度の会費の納入）を心からお願いする次第です。

そして、会員ではないものの市民科学研究室の活動に何らかの共感を抱いてくださっている方々には、新年度（2012 年 4 月～）に向けて資金面での基盤を固める必要がある、年の変わり目のこの時期に、新たな会員になってご支援をいただくよう、心からお願いする次第です。

会員登録ならびに会費納入の詳細については[ホームページの会員募集ページ](#)をご覧ください。また何か不明の点がありましたら、いつでも 03-5834-8328 までお問い合わせください。

これからも末永いご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。

2011 年 12 月 1 日
NPO 法人市民科学研究室・理事メンバー一同